

だいじょうび?

SGLT2阻害薬

SGLT 2 阻害薬とは日本では2014年に最初に発売された新しい糖尿病治療薬です。

食事（たとえばパンやご飯などの炭水化物）から取り込んだブドウ糖は、血液の中に入り腎臓に運ばれ尿に出た後、もう一度腎臓の尿細管というところから取り込まれて血液にもどり、栄養として細胞に吸収されていきます。その結果、健康な人の排泄される尿には糖は出てきません。この尿細管でブドウ糖を取り込んで、尿から血液に戻す働きをしているのがSGLT 2 という蛋白です。SGLT 2 阻害薬はSGLT 2 の働きを抑える薬です。その結果食事から取り込んだブドウ糖の一部はそのまま排泄されてしまうので栄養とならず、パンやご飯などの炭水化物の制限をしたのと同じように血糖が下がります。そのため体重も減ります。

姫路市医師会
スポーツ医学
委員会



森田 雅人

SGLT 2 阻害薬は低血糖にもなりにくく、膵臓にも負担をかけず、体重も減るといった優れた糖尿病薬ですが、さらに循環器領域で注目されているのは心不全に効果があるということです。多人数の方を対象に行った研究でも心不全の入院が減ることが明らかになり、糖尿病をともなった心不全の方に推奨される薬となっています。どうして心不全に効くかはまだ研究段階ですが、循環器系に関するホルモンバランスを整えるためでないかと考えられています。

ただSGLT 2 阻害薬は尿に糖が出るため、排尿量が多くなり脱水が起こりやすくなります。また尿路感染症が増えることも報告されているため、内服中は主治医の先生の指示（たとえば水分はしっかりとる）に従ってください。